

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	測量実習
科目基礎情報					
開設学科	建築学科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	必修	時間数	30時間
単位数	1単位	授業形態	実習		
教科書/教材	プリント				
担当教員情報					
担当教員	尾崎洋介		実務経験の有無・職種	有・施工管理	
学習目的					
<p>建築において、全ての基本となるのは、測量による測量図である。そこから敷地の境界が明確になり、原設計図が生まれ、又、実際の施工においても測量は欠かせない。測量実習では測量の重要性を理解し、代表的な測量方法についての知識の習得を学習の目的とする。具体的には、レベル・トランシット・平板測量それぞれ、基本説明から測量機器の取り扱い、操作方法、測量方法の理解から実施測量、実測についての知識、さらにグループ作業の管理、牽引、指導能力をつけること、及び一級、二級建築施工管理技士、並びに、一級、二級建築士の学科試験合格に準ずる知識の習得も学習目的とする。</p>					
到達目標					
<p>代表的な測量方法についての知識の習得のために次の4点を到達目標とする。</p> <p>① 歩測測量を理解し実測できる。 ② 水準測量を理解し実測できる。 ③ トランシット測量を理解し実測できる。 ④ 平板測量を理解し実測できる。</p>					
教育方法等					
授業概要	<p>各種測量方法の特性を理解した上で、実測によりその特性を検証する。実測においては、班単位で演習し、役割分担を決めて測量に臨む。毎回、測量記録をレポートにまとめ、考察を深める。</p>				
注意点	<p>以下の4点とする。</p> <p>① 使用機材の取扱いには怪我等しないよう充分注意すること。使用機材は精密機械なので、取り扱いは慎重に扱うこと。 ② 屋外実習となるので各自服装等は留意すること。履物は、サンダルやヒールの付いた靴は避けること。 ③ 電卓（携帯電話不可）を必ず持参すること、又製図道具等、その都度、指示のあった教材は持参すること。 ④ 授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。</p>				
方 評 法 価	種別	割合	備 考		
	測量レポート	90%	測量結果を考察するために作成、毎回提出すること		
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	測量実習の概要		測量実習の概要を理解する。		
2回	水準測量 レベル①		水準測量を理解する。		
3回	水準測量 レベル②		水準測量機器の操作を理解する。		
4回	水準測量 レベル③		水準測量、基本測量方法を理解する。		
5回	水準測量 レベル④		水準測量、基本測量ができる。		
6回	水準測量 レベル⑤		水準測量、応用測量ができる。		
7回	角度測量 トランシット①		トランシット測量、基本測量方法を理解する。		
8回	角度測量 トランシット②		トランシット測量、基本測量ができる。		
9回	角度測量 トランシット③		トランシット測量、応用測量方法を理解する。		
10回	角度測量 トランシット④		トランシット測量、応用測量ができる。		
11回	平板測量（放射法）平板測量①		平板測量（放射法）を理解する。		
12回	平板測量（放射法）平板測量②		平板測量（放射法）、基本測量方法を理解する。		
13回	平板測量（放射法）平板測量③		平板測量（放射法）、基本測量ができる。		
14回	平板測量（放射法）平板測量④		平板測量（放射法）、応用測量方法を理解する。		
15回	平板測量（放射法）平板測量⑤		平板測量（放射法）、応用測量ができる。		